

令和5年度  
教育に関する事務の管理及び  
執行の状況の点検及び評価報告書

(令和4年度事業分)



# 1 事務事業点検・評価の概要

## (1) 制度の趣旨及び概要

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

そこで、本町教育委員会では、効果的な教育行政を推進するために、令和4年度の事業について「教育委員会事務事業の点検・評価」を実施し、報告書にまとめることとしています。

本町の教育は、年間を通して学校教育も生涯学習も数多くの教育実践を行い、『環境を生かして子どもから高齢者まで「生きる力」を身につける』を教育の目標の柱として数年に渡り実践して参りました。教育施設整備については、継続して取り組み、教育環境は格段に向上しました。学習面では学習指導要領に沿って子どもたちが勉強しやすい環境づくりに力を入れました。

また、コミュニティ・スクールの導入により、地域の方々の学校運営への参画や子ども達の安全面への配慮、地域学校協働活動の取り組みによる学校と地域が一体となった地域の特性を生かした様々な活動等、津奈木町の将来を担う子ども達の健全な育成に力を注いでいます。

### 【参考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

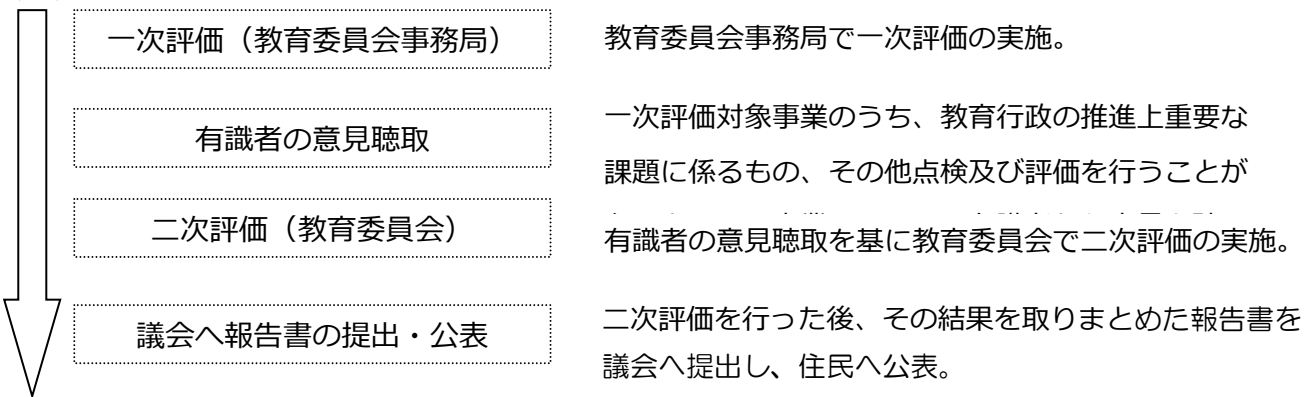
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## (2) 点検・評価の対象

点検及び評価の対象は、実施年度の前年度の「津奈木町教育構想」に基づく教育委員会事務局が実施する事務事業について行います。

## (3) 実施の流れ



## (4) 点検・評価に関する有識者の活用

点検及び評価に客観性を持たせるため、教育に関して学識経験を有する方から令和5年7月5日、つなぎ文化センター相談室において意見をいただきました。

### 【学識経験者】

氏名	役職等	任期
北岡 あつむ	元町職員	令和4年度～令和6年度

## (5) 点検・評価に関する規則

津奈木町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施に関する規則

平成20年教育委員会規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)第26条の規定に基づき、津奈木町教育委員会(以下「教育委員会」という。)が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象とする事業(以下「対象事業」という。)は、「津奈木町教育構想」に基づく事務事業とする。

2 対象事業は点検及び評価する年度の前年度の事業とする。

(実施の方法)

第3条 点検及び評価は、毎年1回実施し、対象事業の取組の状況並びに成果及び課題を整理して、今後の取り組みの方向性を明らかにするものとする。

2 教育委員会事務局は対象事業に係る「点検及び評価結果票」を作成し、第一次評価を行う。

3 一次評価の対象事業のうち、教育行政の推進上重要な課題に係るもの、その他点検及び評価を行うことが必要と認める事業について、第4条に定める学識経験者の意見等を聴取したうえで、教育委員会が第二次評価を行う。

(学識経験者の活用)

第4条 法第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、点検・評価に関する有識者1名を委嘱する。

2 点検・評価に関する有識者の任期は、3年とする。

(議会への報告等)

第5条 教育委員会において、第二次評価を行った後、「点検及び評価結果報告書」を津奈木町議会へ提出する。また、報告書は公表するものとする。

(庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育委員会事務局において行う。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成20年12月1日から施行する。

附 則(平成21年6月25日教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行し、平成20年度事業から適用する。

附 則(平成28年8月26日教委規則第1号)

この規則は、公布の日から施行し、平成27年度事業から適用する。

## 2 点検・評価結果

津奈木町教育構想に基づく事務事業について一次評価を行い、一次評価事業のうち、教育行政の推進上重要な課題に係るもの、その他点検及び評価を行うことが必要と認める事業(20事業)について、有識者の意見を聴取し、二次評価を行いました。

【評価区分】

A：成果があり一層の向上を目指す。 C：見直しの必要がある。  
B：一応の成果があり更に改善を図る。 D：事業の継続中止

## 点検及び評価対象事業一覧

評価 番号	一次 評価	二次 評価	事業名	町教育構想 とのかわり	担当班	シ
1	B	B	学力充実事業	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）	学校教育班	4
2	B	B	義務教育教材備品購入事業	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）	学校教育班	5
3	A	A	英語教育推進事業	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）	学校教育班	6
4	B	B	特別支援教育就学奨励事業	個に応じた支援	学校教育班	7
5	A	A	学級支援員事業	個に応じた支援	学校教育班	8
6	B	B	学校図書購入事業	読書活動の推進	学校教育班	9
7	B	B	道徳推進事業	豊かな心の育成	学校教育班	10
8	B	B	不登校・いじめ等の指導支援	いじめ・不登校問題への組織的対応	学校教育班	11
9	A	A	学校施設整備事業	安全教育の充実と安全な環境づくり	学校教育班	12
10	A	A	英語検定補助事業	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）	学校教育班	13
11	B	B	生涯学習推進事業	各種講座の充実	生涯学習班	14
12	A	A	自治公民館の支援	関係団体との連携・支援	生涯学習班	15
13	A	A	文化センター事業	文化に親しむ体験活動の推進	生涯学習班	16
14	B	B	人権教育推進事業	人権教育の推進（地域の組織と連携しての）	生涯学習班	17
15	B	B	読書活動等推進事業	読書活動の推進	生涯学習班	18
16	B	B	家庭教育推進事業	家庭教育の充実	生涯学習班	19
17	B	B	各種団体の育成・支援	関係団体との連携・支援	生涯学習班	20
18	B	B	有形文化財の保存・活用	文化財の保存管理	生涯教育班	21
19	B	B	青少年の健全育成事業	青少年の健全育成と組織づくり	生涯教育班	22
20	B	B	スポーツ活動の推進・施設運営事業	生涯スポーツの振興（少子高齢化を迎えての）	生涯学習班	23

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	1		
事業名	学力充実事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	熊本型授業の展開、観点別評価の充実、指導体制の工夫を目的とする。各小・中学校の学力を向上させるための教材購入等を行い、児童生徒の学力の充実を図る。	
	事業内容	この事業は、児童生徒の学力を充実させるため、教材費購入等として児童生徒1名あたり、1,000円の予算を計上している。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	309千円 (309千円)	302千円 (263千円)	379千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 津奈木小学校及び津奈木中学校が、学力向上の指定校を受けて研究活動をしてきた経験を生かし、学力向上の充実に向けて取組を行っている。		
	【成果等】 学力向上のために教材等を購入し児童・生徒の学力を充実することができた。ただ、県学力テスト等では、小学校は全学年のほぼ全ての観点及び領域において県平均を下回った。中学校は、学年が上がるにつれ県平均を超えた観点及び領域数が増えてきており、学力の定着がある程度見られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
学力向上に対して町指定の学力向上研究指定をし、学校あげて継続し取り組む体制を維持できるよう、教職員が自らの力量を高めるための研修を推奨するとともに、幼保小中連携により校種間の課題を共通理解できる場の提供などを図った。また、平成23年度から夏季休業中に全教師による学力向上研修会を実施している。さらには平成27年8月からALT（外国語指導助手）を2名体制とし、英語教育にも力を入れている。 今後は国の支援を受けた、県の道徳教育研究推進校として、さらなる学力向上を図るとともに、各学校へ対し学力向上対策費として予算の拡充を行う。			
学識経験者意見等	県学力テスト結果等を考慮し、目標値へ到達出来るよう課題克服へ向けて努力して欲しい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	2		
事業名	義務教育教材備品購入事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	学習指導要領に基づいた教材備品の整備に加え、老朽化した備品等の更新を行うことにより、教育環境整備を行い、学力向上を図る。	
	事業内容	教材備品及び体育備品の整備	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	2,732 千円 ( 2,335 千円)	3,628 千円 ( 3,345 千円)	827 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<b>【取り組み状況】（R4年度実績）</b> ※参考：施設用備品の購入実績 津奈木小：ビデオカメラ、ソングチューナー、ワイヤレスマイク、角椅子、給食配膳台、高精度Aサ-マルカメラ、サ-マルカメラ、パルス計測器 津奈木中：学校保健総合管理ソフト、二酸化炭素濃度モニター、消毒用スチ-ム、システム書架、ヘッドセット、体温検知AI顔認証カメラ、サ-マルカメラ、デジタル体重計、デスクトップパソコン、直流電源装置、ダ-ニル電池、ベルトディスクリーダー、CDデジタルメモリーリーダー、ガス給湯器  <b>【成果等】</b> 新型コロナウイルス感染症対策としてサ-マルカメラ等の購入を行った。また、老朽化した備品の更新を中心に行い、児童生徒の心身の健全育成を図った。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	小学校においては、配膳台、握力計、システムストップウォッチ、ロイター板、防災・抗菌エバーマット、ライン引き、気体採取器の購入を予定している。 中学校については、アルミキングテント、誘導コイルの購入を予定している。 今後も教育環境の充実推進を図るため、引き続き整備を行っていく。		
学識経験者意見等	教育活動に必要な機材等は出来るだけ揃え、学校にはその活用をばかってもらいたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	3		
事業名	英語教育推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	「語学指導等を行う外国青年招致事業」（JETプログラム）等を活用し、義務教育時の外国語教育の強化・充実を図るとともに、国際的な視野を持ったグローバルな人材育成を目的とする。	
	事業内容	ALT（外国語指導助手）2名雇用し、町内各小・中学校及び幼稚園・保育園に派遣 （1日7時間 週35時間 月20日勤務）	
予算額 （決算額）	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	7,057 千円 （ 6,546 千円）	9,333 千円 （ 8,748 千円）	11,355 千円
一次評価 <small>（教育委員会事務局）</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 津奈木小…週3回、幼稚園・保育園…月1回 以外は中学校勤務 【成果等】 中学校においては、少人数での指導が行われており、3級及び4・5級を中心に英検合格者も多い。 小学校においては、新学習指導要領により外国語活動等が行われるようになり、子ども達も英語を更に身近に感じられるようになっている。また、幼稚園・保育園では、あいさつや歌、七夕、クリスマスといった行事で英語にふれる機会を増やし、園児も楽しみにしている。 新型コロナウイルス感染症拡大により小中学生向けの英語キャンプは実施出来なかったが、住民向けの英会話教室は町民講座として通年実施した。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	中学校においては、ALT及び少人数学級の活用でよりきめ細やかな指導をすることにより、また、英検受験料の補助制度を活用し、今後も更なる英語力の向上を図っていく。 小学校においては、平成28年度から文科省の教育課程特例校となり全学年で外国語活動を行っているため、ALTの更なる活用を推進していく。 保育園においては、就学前教育の一環としての英語教育の更なる充実を図り、小学校へと繋げる。 今後も引き続き、英語キャンプや英会話教室を実施して行きたい。		
学識経験者等 意見	一小一中という中で、ALTが2人体制という英語教育環境は恵まれた状況にあるので今後もこの体制を継続して欲しい。また、今後も学校だけでなく一般の人を対象にした英語講座等についても積極的に展開して欲しい。		
二次評価 <small>（教育委員会）</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	



## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	4		
事業名	特別支援教育就学奨励事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかかわり	個に応じた支援		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	小・中学校の特別支援学級に在籍する保護者に対して、その経済的負担能力に応じ、就学に要する所要の経費の一部を補助し、保護者の経済的負担軽減を図る。	
	事業内容	小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対して、学用品費・給食費等の援助を行う。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	829 千円 ( 463 千円)	1,138 千円 ( 614 千円)	819 千円
一次評価  (教育委員会事務局)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 小学校児童9名、中学校生徒7名に対して学用品費、給食費等の援助を行った。		
	【成果等】 特別支援学級の児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減することができ、児童・生徒の教育への支援ができています。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
今後、本事業の適正な実施により、特別支援学級に在籍する児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援していく。			
学識経験者意見等	今後も継続した取組を行って欲しい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	5		
事業名	学級支援員事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかかわり	個に応じた支援		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目 的	学校の教育指導に基づく諸活動が円滑に進むように、必要に応じた教員補助員（学級支援員）を配置する。	
	事業内容	授業指導の補助や特別な支援を要する児童の身辺介助及び安全管理などを行う学級支援員を配置した。 ①津奈木小学校・・・5名    ②津奈木中学校・・・3名	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	13,644 千円 ( 13,644 千円)	18,344 千円 ( 17,087 千円)	18,841 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 21年度からは緊急雇用創出基金事業の活用により手厚く児童生徒への支援が行えるよう増員を図っており、22年度からは各小中学校に合計8名を配置。28年度からは単独事業により7名、令和3年度からは8名を配置し、支援を要する児童生徒のみならず、学級全体に気を配り担任等の補助をしている。なお、令和4年度からは看護師の資格を持つ支援員を内2名配置し、病弱・身体虚弱学級在籍の児童へも対応している。 【成果等】 支援・介助が必要な児童生徒について、集団生活への適応指導補助や学習指導補助等を行い、学級担任等を補助することにより学級全体の円滑な経営や、学力の向上への成果があった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	平成24年度までは、緊急雇用創出基金事業を活用しながら、支援員の配置を行っていたが、その後は、単独事業により実施している。今後も、学校現場や保護者、町の福祉部局と連携を取りながら、支援の必要な児童・生徒の把握に努め、学級全体の学力向上を目指し適切な支援員数の配置を計画し要望していく。なお、令和4年度からは病弱・身体虚弱学級が設置された為、看護師資格をもつ支援員の配置も継続して行っていく。		
学識経験者意見等	全国的に支援が必要な児童生徒に対するマンパワーの充実は欠かせない状況にある。本町では、支援員の絶対数確保を継続して行ってもらっていることは、大変ありがたいことである。子どもの将来を見据えた投資は充分評価できるので、今後も適切な人数の確保をお願いしたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	6		
事業名	学校図書購入事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	読書活動の推進		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目 的	学校図書館の計画的な利活用、図書に親しむ場の工夫を目的とする。	
	事業内容	学校毎に毎年図書購入を行っており、学校図書館を多く利用することで読書を習慣づけ、心を育む場及び学力向上に結びつけられるように、学校図書の整備を実施している。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	1,186 千円 ( 1,167 千円)	600 千円 ( 589 千円)	600 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 児童生徒に合わせた図書購入、また幅広いジャンルの図書購入に心がけ整備をしており、多くの児童生徒の図書館利用を図っている。また、令和4年度に各学校に図書システムを導入し、蔵書のデータベース化及び電子管理化したことで、学校図書の利便性が向上した。		
	【成果等】 多くの児童生徒が休み時間などに学校図書館を利用しており、学習の場、図書に親しむ場として活用されている。図書基準の達成率については、標準を越えている。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
読書を通して、児童生徒の個性を生かした教育活動ができるため、今後も図書購入(更新)を継続し、学校図書館の更なる充実を図る。			
学識経験者意見等	読書を通して、児童生徒の個性を生かした教育活動ができるため、今後も必要数の購入(更新)を継続してもらいたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	7		
事業名	道徳推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	豊かな心の育成		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	道徳時間の充実、系統性、計画性のある体験活動の重視。 各小・中学校で、一人一人の人権を尊重した教育の徹底を図り、差別をなくす心豊かな児童生徒の育成を目指す。	
	事業内容	毎年、小・中学校の教員を対象とした研修で、講師を招いた人権教育に係る研修を行い、児童生徒への指導力向上を図っている。 また、中学校では、「ようこそ先輩」やキャリア教育等とおして、体験活動の中から命の尊さを学ぶ。各学校の食育関係の講演等では地域との交流を深め、関わりを持つ。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	87千円 (42千円)	87千円 (46千円)	991千円
一次評価  (教育委員会事務局)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 毎年、教職員を対象とした人権研修を行っている。 また、中学校では、「ようこそ先輩」等とおして、体験活動の中から命の尊さを学んでいる。		
	【成果等】 差別をなくす児童生徒の育成を目指し、人権作文や人権標語作品を募集することができた。また県の子ども人権作品展に出展を行った。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
今後、「命の尊さ」を中心とした心豊かな児童生徒の育成を重視し、体験活動を生かした道徳教育を行っていく。なお、講師についても、今後各所から推薦していただき、選考したい。 また、令和5年度から2カ年間は、国の道徳教育の「抜本的改善・充実にかかる支援事業」の委託を県を通じ受ける事で、公開授業や研究発表会等も行い、更なる道徳教育の推進を図って行きたい(道徳教育研究推進校事業)。			
学識経験者意見等	地域や外部等からの意見等を積極的にとりいれながら、推進していくことが必要である。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	8		
事業名	不登校・いじめ等の指導支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	いじめ・不登校問題への組織的対応		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	町内の小・中学校から不登校児童生徒といじめの根絶を図る。	
	事業内容	各学校に対して、不登校児童生徒の解消と、いじめ根絶のための指導・助言を行う。 また、平成28年度に設置したいじめ問題対策連絡協議会を中心に、いじめ、不登校等に関する支援を行っていく。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	87千円 ( 0千円)	87千円 ( 16千円)	87千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 毎月の定例報告、町内校長会等において、不登校が心配される児童生徒の実状を把握し、各学校に対して指導を行った。また、SCやSSWといった専門家とともに、不登校（傾向含む）の児童生徒に対し家庭訪問等を実施した。6月のいじめ根絶月間の取り組みとして、いじめ根絶の標語、ポスター募集等を行い啓発を図った。3年ぶりに津奈木町いじめ問題対策連絡協議会を開催し、児童生徒の現況等について情報を共有できた。 【成果等】 いじめの認知件数 小学校：2件 中学校：6件 いずれも解消済みで、早期発見・対応ができています。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	SCやSSWと連携し不登校傾向にある児童生徒への早期対応を推進していく。また、津奈木町いじめ問題対策連絡協議会を開催する。 今後も各学校と連携し、個々の状況を確認しつつ、悩みを抱える児童生徒への多面的で継続的な支援が行える体制づくりについて検討していく。		
学識経験者意見等	今後も不登校にならないよう十分な対策を取ってほしい。そのためには関係機関との連携はもちろんであるが、定期的なアンケート調査や未然防止のための情報交換を積極的に行って欲しい。 いじめ問題については、早期発見・早期対応をお願いしたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	9		
事業名	学校施設整備事業		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年事業 <input type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	安全教育の充実と安全な環境づくり		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	改善の必要な学校施設を整備することにより、児童生徒の安心・安全な学校環境の向上を目的とする。	
	事業内容	学校施設の整備・改修	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	14,781 千円 ( 12,315 千円)	32,414 千円 ( 30,885 千円)	67,047 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<p>【取り組み状況】(R4年度主な整備)</p> <p>津小…音楽室床シート張替、照明改修(LED化)、 外トイレパーテーション改修</p> <p>津中…体育館網戸改修、放送設備更新、照明改修(LED化)、 職員室等エアコン更新</p> <p>【成果等】</p> <p>国・県の新型コロナ交付金事業を活用し中学校体育館の網戸改修や保健室のエアコン更新を行い感染症対策の推進と児童生徒が安全で安心できる学校環境の整備を図ることができた。</p>		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	<p>令和5年度も、継続して軽微な補修や早急に対応が必要な修繕等を行い、児童生徒の安全管理の徹底、充実した教育環境の整備を図る。</p> <p>【令和5年度の主な予定事業】</p> <p>津小…渡り廊下防鳥工事、体育館屋根等大規模改修工事</p> <p>津中…昇降口シャッター改修工事、屋外螺旋階段塗装等工事</p>		
学識経験者意見等	児童生徒の安心・安全な学校環境の向上を目指して、施設の整備等をしっかりと取り組んでもらいたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	10		
事業名	英語検定補助事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	学力向上（「主体的・対話的で深い学び」の追研）		
事業担当班	学校教育班		
事業の概要	目的	グローバル化が進む中、英語力の向上を図り世界へ進出する人材の育成を育むことを目的としている。	
	事業内容	中学校の全生徒を対象として、本年度中に受検した1回分の検定料の補助を実施。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	391千円 (303千円)	382千円 (311千円)	351千円
一次評価  (教育委員会事務局)	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す      C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る      D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 全生徒105名のうち89名が本補助事業を活用。		
	【成果等】 延べ94名が受検し、うち63名が合格することができた。 合格率は67%であった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
令和5年度からは本事業を小学生まで拡充する為、ALTの活用と併せて、児童生徒の英語に対する学習意欲の更なる向上を図っていきたい。 また、平成31年度（2019年度）から実施している漢字検定受検料補助事業についても、活用を推進し、子ども達の漢字能力の保持と漢字に対する学習意欲の向上を図っていく。			
学識経験者意見等	今後もALTと併せて本事業を活用し、津奈木中学校生の英語力の底上げを図ってほしい。		
二次評価 (教育委員会)	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す      C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る      D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	11		
事業名	生涯学習推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	各種講座の充実		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	社会教育活動の充実を目指し、コミュニティの場の提供を行うとともに、町民の学習意欲を高め、学び続ける事の楽しさと充実感を感じてもらおう等、町民の「生涯学習」の支援・促進していくことを目的とする。	
	事業内容	<p>【町民講座（4講座）】①英語を話そう教室 ②家庭菜園教室 ③④タブレット活用教室（昼・夜の部）</p> <p>【あけぼの大学】主に高齢者を対象とした「講座・教室等」を計画し年間の活動を行っている。令和4年度は、「SDGs 講話・防災講話・高齢者の健康講話・モルック体験会・体力測定会の5事業」を実施。</p> <p>※生涯学習フェスティバルは、新型コロナウイルス感染拡大等に伴い中止。</p>	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	1,141 千円 ( 323 千円)	1,110 千円 ( 385 千円)	1,037 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<p>【取り組み状況】</p> <p>町民講座やあけぼの大学など、町民の生涯学習活動では「手をつなぎ・学ぶ楽しさ・生かす喜び」をキャッチフレーズに、コロナ禍ではあったが、感染対策を講じながら、最大限での開催ができた。</p> <p>(町民講座(4講座)、延べ参加者数：受講者総数：547名/年、あけぼの大学(5事業)、延べ参加者数：109名/年)</p>		
	<p>【成果等】コロナ禍ではあったが、受講者の方々が「互いに学び合い・楽しく集える場」を可能な限り提供することができた。</p>		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
<p>今後の更なる講座等の充実のためにも、町民のニーズを把握する必要がある。特に、多世代(若い世代)が受講ができる新規講座の開設や、多世代の交流等を踏まえた新たな事業の検討が必要である。しかしながら、年々、講師等の発掘が困難となってきたおり、生涯学習の推進・充実のためにも、町内での人材育成を積極的に進めることも検討しなければならない。</p>			
学識経験者意見等	講座の内容については、ニーズに沿うような講座を検討していただき、高齢化社会の中で地域内のコミュニケーションがより一層図れるように事業の継続をお願いしたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	



## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	12		
事業名	自治公民館の支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係団体との連携・支援		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	地区公民館活動等の促進・活性化を図ることを目的とする。	
	事業内容	公民館活動の事業の継続・新規の事業を実施していくなかで、行事運営上での資金不足等の支援を行い、公民館活動を促進する。 (公民館活動奨励補助金の交付)	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	1,100 千円 ( 1,000 千円)	1,100 千円 ( 1,000 千円)	1,100 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 行政区の22地区を補助対象とし、申請・実績報告のあった20地区に対し、1地区当たり5万円(上限額)を交付した。		
	【成果等】 それぞれの公民館で独自の活動を計画されていたが、3年度に続き新型コロナウイルスの影響により、活動の実施が困難であり、多くの地区が「備品等の購入」に補助金を使用されていた。しかしながら、一部ではあるものの、できる範囲での公民館活動を行っている地区も見られた。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
全地区に50,000円を上限とする地区活動への補助を継続して行い、現在の地区活動から更なる活動の促進・充実に向けた取組への支援を行っていく。また、人材育成と併せ、更なる地域活動の推進を図るためにも、研修会等の開催も検討していきたい。			
学識経験者意見等	各地区で活動内容に差があるが、地区での活動を行うにあたり非常に助かっている部分があるので、地域コミュニティの維持と地区活性化のために継続していただきたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input checked="" type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	13		
事業名	文化センター事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	文化に親しむ体験活動の推進		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	平成2年に建設されてから30年余りが経過し、施設内外設備等の老朽化が著しい状況となってきたことから、バリアフリー化等の機能を持つ施設として、計画的な改修・修繕を行っていくことにより、設利用者の利便性向上等につながるほか、町民の更なる文化と福祉の向上に資することを目的とする。	
	事業内容	<p>【改修事業】文化センター多目的ホール改修工事実施設計業務委託（繰越明許費：9,624千円）</p> <p>【運営事業】町民の教養及び文化の向上のための事業、町民の健康及び体力の維持・向上に関する事業等を行う。</p> <p>【自主事業】隔年開催（令和4年度は実施なし。）</p>	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	35,079 千円 ( 32,104 千円)	21,902 千円 ( 19,603 千円)	14,652 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■ 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □ 見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □ 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □ 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<p>【取り組み状況】 施設の改修等については、町振興計画や個別施設計画のもとに、適時進めていく。（小規模な修繕等は、できる限り早期に行っている。）</p> <p>【成果等】 施設の利用についても、コロナ禍ではあったものの、感染対策の徹底を図り、町内外の利用者が様々なイベントや各種会議（研修会）、町民講座・自主講座等の実施ができた。</p> <p>※R3利用実績 8,133人 → R4利用実績 11,448人</p>		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	<p>施設利用者の利便性向上や安心安全な利用促進を図るため、必要に応じた維持管理のための修繕工事や複数年計画による改修工事を計画的に行っていく。（今後の主な改修計画として、ホール天井改修（照明LED化等含む）・空調設備改修工事等）</p>		
学識経験者意見等	<p>文化センターの建設から年月が経っているので、修繕がある場合は早急な対応と法に基づいた適正管理と計画的な改修をお願いしたい。 コロナ禍で大規模なイベントや行事の開催が見送られてきたかと思うが、可能な範囲での利用等、利用者増につながるよう常に体制を整えておいてほしい。</p>		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> A ■ 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C □ 見直しの必要がある <input type="checkbox"/> B □ 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D □ 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	14		
事業名	人権教育推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	人権教育の推進（地域の組織と連携しての）		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	住民の人権が尊重される社会を目指し、人権問題に対する理解と認識を深め、部落差別（同和問題）をはじめとする人権問題の解決を図ることを目的とする。	
	事業内容	住民の人権意識の高揚を図るための学習会や、人権教育に関する認識と力量を高めるための研修会等への参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となるなど、思うように人権教育を推進することができなかった。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	99 千円 ( 7 千円)	79 千円 ( 61 千円)	84 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 ・水俣・芦北地区人権教育研究大会 ※コロナ感染拡大で開催直前の中止が決定 ・あけぼの大学での人権講話学習会 ※コロナ感染拡大防止等により別事業に変更		
	【成果等】 令和4年度から水俣・芦北地区人権教育推進協議会事務局を担当しており、県内の先進地の取り組み等多くの学びを得ることができ、今後の推進の参考となった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
人権問題に対する理解と認識を深めるため、人権教育推進に係る学習会等学びの場を増やしていく。 行政職や学校関係者に限らず、町広報誌やホームページ等の媒体を通して広く住民に人権啓発を呼びかけ、意識の向上に努める。 ※令和4・5年度の水俣・芦北地区人権教育推進協議会事務局を津奈木町が行う。			
学識経験者意見等	終わりのない取り組みであると思うので、人権教育の継続と更なる推進を行っていただきたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	15		
事業名	読書活動等推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	読書活動の推進		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町民の図書館利用に供し、文化的教養の向上や調査・研究等に資することを目的とする。 また、幼少期から本に触れ親しみを持つことや、読書に興味をもってもらい、人間形成の構築や想像力豊かな子どもに育てもらうための事業を行う。	
	事業内容	図書館利用者のニーズに応えながら、様々な分野の図書を毎年購入し利用促進を図ることや、「子ども読書の日」にあわせ、毎年図書館を利用した多読者ベストテンの表彰・おはなし会を開催する。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	2,008 千円 ( 1,862 千円)	1,840 千円 ( 1,696 千円)	1,830 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】 【令和4年度の図書購入実績】 一般書：427冊、児童書：429冊、視聴覚：1冊 購入総数：857冊 寄贈書：55冊 蔵書総数：23,493冊 【入館者数】3,049人（うち、貸出者数2,209人 貸出冊数5,209冊） 【読書表彰・おはなし会】4月24日（日）開催 ベスト1 193冊		
	【成果等】 コロナ禍による施設の入館制限等があったものの、施設利用者が安心安全に利用できるよう、施設での感染対策や利用者による感染対策への協力を得ながら、図書館の利用促進を行った。入館者等も、少しずつではあるが増加傾向にある。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
今後も、利用者のニーズに応じた多くの新刊や話題性のある書籍を購入し、蔵書を増やすことで魅力ある図書館としていきたい。また広報誌等を活用し新刊書籍を紹介するなど利用促進を図り、子どものみならず、一般の方や家族等でも利用しやすい図書館づくりを目指していく。 また、より多くの住民に図書館の利活用を広げるため、今後は図書館司書（補）の導入や、障害者にもやさしい図書館として、バリアフリー化などの改修等も含め検討していきたい。			
学識経験者意見等	引き続き、図書の充実及び利用しやすい図書館作りを進めてほしい。 子どもが本に親しむことができ、読書を通して学力向上につなげるためにも継続して事業実施をお願いしたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	16		
事業名	家庭教育推進事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかかわり	家庭教育の充実		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	青少年の健全育成や子どもたちの健やかな成長に喜びを実感できるよう、家庭支援の充実・社会環境の更なる整備を図るため、地域・学校・行政等の連携を密にし、新たな事業の推進に努めることを目的とする。	
	事業内容	親の学びプログラム講座、親子風揚げ、地域未来塾（夏休み期間中の中学生を対象とした、学習の場の提供及び学習支援）の実施。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	187千円 (109千円)	341千円 (231千円)	339千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<p>■親の学び 【取り組み状況】親の学びプログラム講座を小・中学校において、学級懇談会時に実施し、幼稚園では、親の学びオンデマンドDVDを保護者に貸し出した。</p> <p>【成果等】各学校等で親の学びプログラム講座を開催することにより、家庭での教育の大切さの学びにつながっている。</p> <p>■風揚げ 【取り組み状況】1月22日（日）開催し、こども（3名）と保護者が参加。</p> <p>【成果等】1月15日（日）開催予定であったが、雨天のため延期したため、例年より大幅に参加者が少なかった。</p> <p>■地域未来塾 【取り組み状況】前期（7月：3日間 のべ72名）後期（8月：5日間 のべ68名）</p> <p>【成果等】夏休み中の継続した学習活動及び講師の指導により、学習習慣が身に付くとともに学習の基礎作りができた。</p>		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	青少年の活動や経験の場の提供及び家庭教育の充実のために、これまでの取り組みは継続しながら、更に充実した取り組みとなるよう、内容等のブラッシュアップを図っていきたい。		
学識経験者意見等	家庭での学習が十分でない子ども達や学力向上のためにも良い事業だと思うので、継続していただくとともに、親の学びを通して、家庭教育の重要性について保護者や地域に対しても理解を促してもらいたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	17		
事業名	各種団体の育成・支援		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独	<input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	関係団体との連携・支援		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町内の各種団体との連携強化や団体の運営・諸活動に対する助言等を行うほか、育成・支援・援助を行うことを目的とする。	
	事業内容	町文化協会・スポーツ協会の運営・諸事業の開催や、加盟団体の育成等を行っている。(両協会とも教育委員会が事務局) 婦人会・PTAの運営や活動支援のための補助金交付を行うとともに、育成・支援を行う。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	1,966 千円 ( 1,786 千円)	1,920 千円 ( 1,840 千円)	2,770 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況・成果等】 長引く新型コロナウイルスの影響もあり、数々の諸行事等が中止となる中、ふれあい祭りでの「展示発表部門」が久々の開催となり、活動再開の一助となったと思われる。 町民体育祭については、すべてが中止。(野球大会については、開催予定であったが、当日の雨天にて中止。)更には、加盟団体の活動低迷が懸念される所である。		
	これまで、津奈木町PTA連絡協議会の活動に対し、運営費の一部を補助金として交付していたが、令和4年度から連絡協議会が無くなり、小学校・中学校それぞれのPTAに補助金を交付することとなった。		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
町文化協会・スポーツ協会ともに、教育委員会が事務局として行政主導の運営が続いており、今後の新たな組織の变革・強化、事業転換を考えた場合、両協会ともに独立運営に向けた検討が必要と考えます。  婦人会やPTAが行う諸活動等については、地域・学校等に密着した大きな役割を担っている。今後も互いの連携を図りながら、更なる組織の活性化や活動の推進・向上を図るためにも、補助金の交付と併せ、指導・助言等を行うなど、継続した支援を行っていく。			
学識経験者意見等	会員や役員等人材の確保が必要であり、そのための育成支援や今の時代に沿った団体の体制づくり・活動等、切り口を見つけて体制整備を行っていただきたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す    C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る    D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	18		
事業名	文化財の保存・活用		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	文化財の保存管理		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	歴史的に重要な文化財を後世に残し、広く一般に鑑賞してもらいながら心豊かな文化の香り高い町づくりを推進していくことを目的とする。	
	事業内容	町文化財保護委員会を中心に、年間を通じた文化財の保護・管理に努めるほか、無形民俗文化財である「平国六方踊り」の活動支援としての補助金交付や、今後の保存・継承していくための指導・助言等を行う。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	399 千円 ( 269 千円)	585 千円 ( 291 千円)	441 千円
一次評価  (教育委員会事務局)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<p>【取り組み状況・成果等】</p> <p>町文化財保護委員会の開催において、町指定文化財（有形・史跡・天然記念物）の現地視察や現状についての課題など、今後の保護・管理・活用等についての様々な意見をいただいた。（平国六方踊り・染竹棒踊りの今後の活動についてや、津奈木町詩下巻の発行についてなど。）</p> <p>また、石橋等の文化財周辺の除草作業の委託（5箇所）や、老朽化等による文化財標識の立替設置（4箇所）の維持・管理を行った。</p>		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
<p>町の貴重な財産である石橋を中心とした文化財を後世に伝えるため、町文化財保護委員会を含め、定期的な巡回を行い、環境保全のための除草作業等適切な管理を実施し保存に努める。</p> <p>また、伝統芸能については、後継者不足等により継続が困難となりつつあるため、維持するための検討や、活動を休止している団体に対して活動を再開できるよう、各団体が抱える現状や問題点を共有するなど、活動の維持・復活に向けた取り組みを進めていく必要がある。</p> <p>更には、文化財等（眼鏡橋や彫刻）を活かした、観光・文化ルートを形成するなど、「多くの人々が訪れてくれる町」づくりにつながるよう活用を検討していきたい。</p>			
学識経験者意見等	本町にも素晴らしい文化財があるので、適正な維持管理と保存を行いながら、もっと多くの人にその存在を知ってもらうための方策を検討していただきたい。		
二次評価  (教育委員会)	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	

## 令和4年度事業点検及び評価結果票

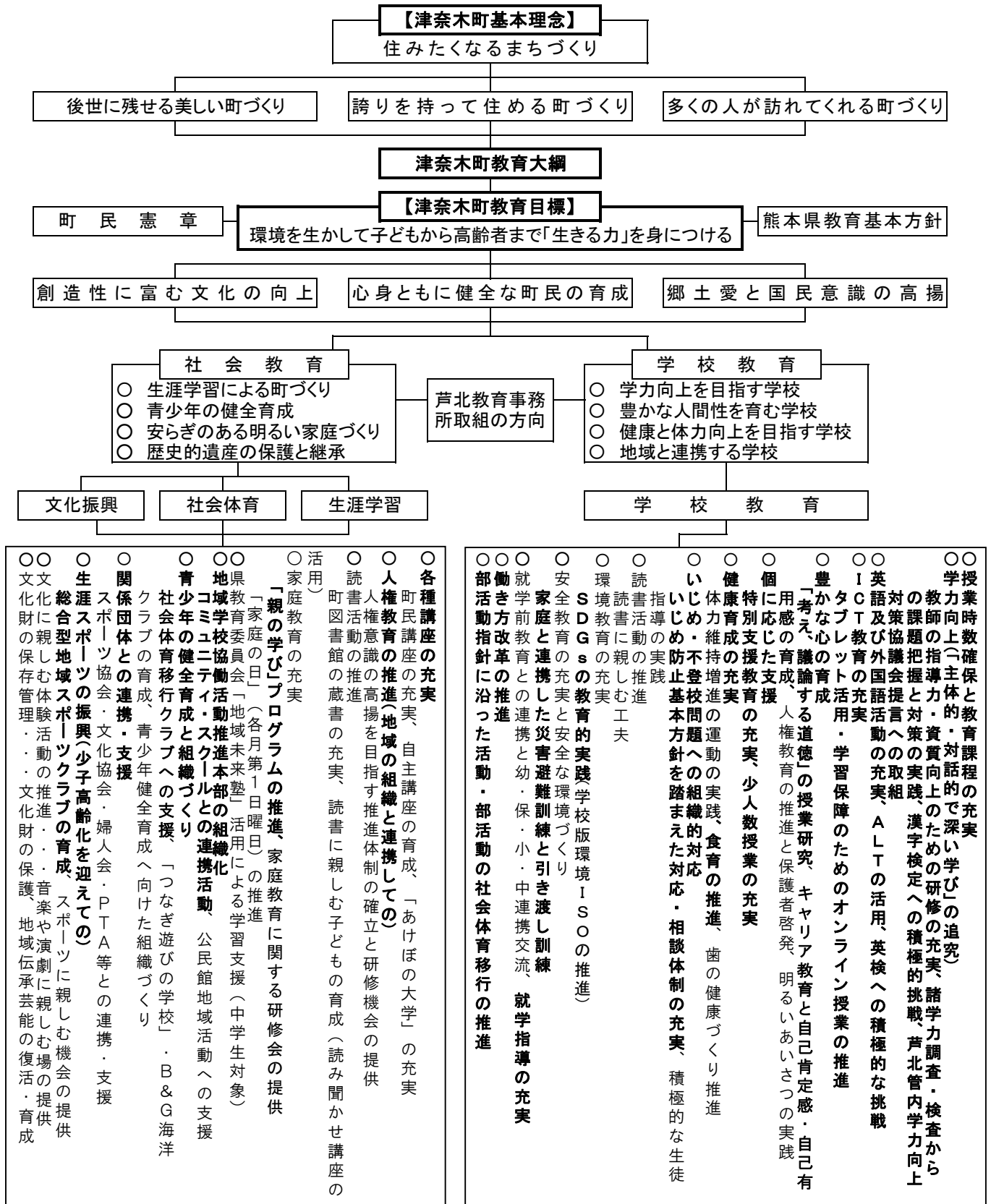
評価番号	19		
事業名	青少年の健全育成事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	青少年の健全育成と組織づくり		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	スポーツ活動・野外活動等を通して親しみ・楽しさ・厳しさを体感するとともに、青少年の心身の健全育成や豊かな人間形成、体力向上を図り、集団活動における協調性を学び、参加者相互の親睦を図ることを目的とする。	
	事業内容	短期教室として、町内指導者及び消防署職員の協力を得て行う水泳教室や、町スポーツ推進委員によるラケットテニス教室を開催。年間を通して行う「つなぎ遊びの学校」の諸活動や海洋クラブによる海洋スポーツ活動等の実施。	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	649 千円 ( 348 千円)	980 千円 ( 535 千円)	1,172 千円
一次評価 <small>(教育委員会事務局)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	【取り組み状況】		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■泳げない子供のための水泳教室（7月） 6日実施 参加者21人、延べ参加者数98人（指導者：町内指導者及び消防署職員）</li> <li>■ラケットテニス教室（2～3月） 4回、参加者7人、延べ参加者数24人（指導者スポーツ推進委員）</li> <li>■つなぎ遊びの学校・B &amp; G海洋クラブ (グラウンドゴルフ交流会・環境センター学習・フォレストアドベンチャー体験等) 9回活動/年 参加者14人、延べ参加者数108人</li> </ul>		
	【成果等】 各教室においては、基礎から指導を行い、期間中に多くの子どもたちの技術的な成長が見られた。遊びの学校・海洋クラブにおいては、多種多様な活動を行うことで自然に触れるなど貴重な体験ができた。		
今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性			
少子化や子ども達の活動の多様性による近年の参加者減少等を考慮し、子ども達が興味を持つような活動を検討していく必要があるため、主催側も多くの情報収集や体験をしていかなければならない。また、諸活動においては指導者が必要不可欠であり、安心安全な活動を行うための、指導者の資質向上や人材育成にも努めていきたい。			
学識経験者等 意見	少子化に伴い部員が減少傾向にあるので、部員の確保及び指導者の育成に引き続き取り組んでいただきたい。 少子化や子どもたちの活動の多様性等、参加者が減少傾向ということであるが、海洋スポーツ活動等貴重な体験もできるので、参加者を確保しながら、子どもたちには津奈木町ならではの体験をしていただきたい。		
二次評価 <small>(教育委員会)</small>	評価区分	A <input type="checkbox"/> 成果があり一層の向上を目指す C <input type="checkbox"/> 見直しの必要がある B <input checked="" type="checkbox"/> 一応の成果があり更に改善を図る D <input type="checkbox"/> 事業の継続中止	



## 令和4年度事業点検及び評価結果票

評価番号	20		
事業名	スポーツ活動の推進・施設運営事業		
事業区分	<input type="checkbox"/> 単年事業	<input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	補助・単独 <input type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 町単
町教育構想とのかわり	生涯スポーツの振興（少子高齢化を迎えての）		
事業担当班	生涯学習班		
事業の概要	目的	町民の融和と体力向上、健康増進を図るとともに、地域の活性化並びに地域間・世代間の交流の場とし、明るい町づくりを目的とする「町民体育祭」の開催や、児童・生徒を対象とした本町の社会体育クラブ「つなぎっ子クラブ」では、スポーツに親しみ、運動の楽しさや喜びを感じ、心身の健全育成・体力の向上を促進していくことを目的とする。	
	事業内容	<p>*町民体育祭（4種目）の開催。（ミニバレー・野球・競舟・町民大運動会）</p> <p>*年間を通しての社会体育クラブ「つなぎっ子クラブ」の開催。（6クラブ：野球・バスケット・剣道・陸上・空手・バドミントン）※当該クラブの開催にあたり、適切なスポーツ活動の環境を確保し、安心・安定した活動体制づくりを推進・育成するとともに、活動状況を共有し、より適切な活動の支援を行うための、津奈木町スポーツ活動環境整備推進委員会を設置し、委員会の開催（3回/年）の外、指導者等の研修会を行う。</p> <p>*スポーツ活動やコミュニティ活動の拠点施設として、スポーツ活動等の普及・促進や、町民の体力向上等に資するなど、施設利用者が安全・安心して使用できる施設運営（管理）を図ることを目的とする。</p>	
予算額 (決算額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度(当初)
	28,470 千円 ( 22,446 千円)	61,398 千円 ( 54,878 千円)	22,427 千円
一次評価  (教育委員会事務局)	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	
	取 り 組 み 状 況 及 び 成 果 等		
	<p>【取組みの状況・成果等】</p> <p>町民体育祭の今後の在り方については、これまでもスポーツ協会理事会を中心に協議を行ってきた。近年の「人口減少・少子高齢化」等を含め、今後の町民体育祭の継続にも危機感を感じている中、以前から提案のあった「合同地区」での出場に対するアンケートを実施。アンケートのまとめについては、スポーツ協会理事会で報告。</p> <p>社会体育クラブでは、令和4年度において5クラブが活動を行った。コロナ禍で活動の低迷や一部でクラブ員離れが見られるところもあったが、指導者を中心により良い活動の実施に尽力されていた。また、教育委員会においてもクラブ活動の支援として、財団法人の助成金を活用し、各クラブへ物品等の購入を行った。</p> <p>体育施設の運営（管理）等については、施設利用者が安全で安心して使用できるよう、適時、除草作業等の維持管理を行うほか、軽微な補修等による施設の管理等に努めている。また、老朽化等による施設の改修等については、個別施設計画のもと、適時改修等を行っていく。（令和4年度の主な改修工事：児童公園トイレ改修、B&amp;G艇庫改修）</p>		
	今 後 の 取 り 組 み の 方 向 性		
	<p>町民体育祭の開催にあたっては、令和4年度のアンケートをもとに、令和5年度から、模索的ではあるが「町民体育祭」のあり方と併せ、全地区が参加できる対応策として「合同地区」での出場を取り入れていく。</p> <p>社会体育クラブの活動については、引き続き、推進委員会を中心に各クラブの活動状況の把握等に努め、適切なクラブ活動のための育成・支援を行っていく。更には、指導者の資質向上等も踏まえ、各種研修会（県主催）等への参加呼びかけや町独自での研修会等の開催も行っていきたい。また、今後の中学校部活動地域移行に備え、本委員会、学校・地域・行政等の連携を図っていきたい。</p>		
学識経験者意見等	<p>少子高齢化及び人口減少が進み、町民体育祭の在り方を検討する時期にきている。伝統は守りながら、今の時代に合ったやり方を引き続き検討していただきたい。</p> <p>施設の修繕箇所は早急な対応を行うなど、適正な管理をお願いしたい。</p>		
二次評価  (教育委員会)	評価区分	<input type="checkbox"/> A 成果があり一層の向上を目指す <input type="checkbox"/> C 見直しの必要がある <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果があり更に改善を図る <input type="checkbox"/> D 事業の継続中止	

# 令和4年度 津奈木町教育構想



先人の遺徳

学校

行政

地域社会

家庭

手をつなぎ、学ぶ楽しさ、生かす喜び！！

津奈木の子どもは津奈木で育てる！！

\* 太字は重点項目・事項

**津奈木町教育委員会**